

楽な介助の方法④ ~立ち上がり編~

前回は軽介助での立ち上がり方法について説明しました。今回は重度介助～全介助のポイントの説明します。介助の原則は共通していますが、介助量が多い場合は、介助する方・される方がより安全に行なえるように工夫することが大切です。

介助方法について

★「立つ準備」は、前回のゆずる通信をご参照下さい。

立ち上がり介助の一例



楽な介助のポイント

- ①相手にしっかり近づく
距離が遠いと腰への負担が増大するため、しっかり近づく
- ②座面の高さを上げる
ベッドの高さを上げる
座布団を引いて補高する
- ③複数で介助する
他に人がいる場合は複数で介助する

距離が遠いと...



相手にしっかり近づくことで、

🌸 **安心&安全** 🌸
に介助が出来ます

※病気やケガの種類によっても介助方法は異なります。お気軽にご相談下さい。

8月21日にケアマネジャー等の方々を対象として研修会を開催しました。テーマは「**地域で実践！リハビリテーション栄養**」。ほほえみの里の管理栄養士を講師に迎え、当事業所の理学療法士と一緒にリハビリテーションと栄養の関係や、食事の評価・献立の立て方等をお伝えしました。ご参加ありがとうございました。

